

自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を 図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実

～総合的な学習の時間における
学年・学級の枠を外した学習集団での取組を通して～



令和5年1月31日
寄居町立男衾中学校 市川 篤史

はじめに

“夢を叶える学校” 寄居町立男衾中学校について

- ・ 開校76年目
- ・ 生徒数 216名 8学級（内特別支援学級2）
- ・ 平成27年度より「学び合い」を学校全体で取り組む
- ・ 隣接する男衾小学校と小中一貫教育に取り組む
- ・ 令和4年度 国立教育政策研究所教育課程実施検証協力校として、総合的な学習の時間の実践研究に取り組む



研究主題の設定

総合的な学習の時間における生徒指導

総合的な学習の時間が目指すのは…

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する

他の教科等以上に、知識や技能を自ら求めていく人間像が想定されている

探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う

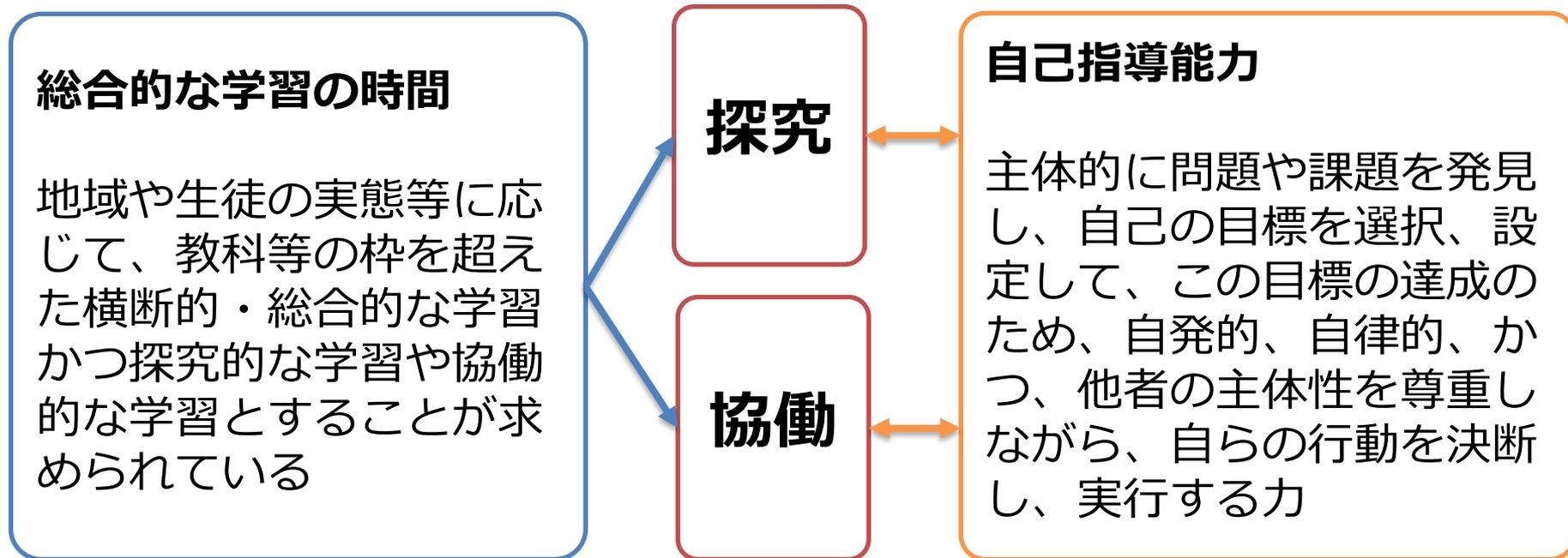
生徒指導の定義

社会の中で自分らしく生きることができる存在へと生徒が、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える

総合的な学習の時間を充実させることが、生徒指導の目標に直接又は間接に寄与することになる

研究主題の設定

自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を 図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実



本校では、「探究と協働」をテーマに掲げ、総合的な学習の時間を核とし、すべての教科等を横断的な視点で捉え、授業改善を進めながら、生徒一人一人の自己実現を図っていききたいと考え、上記主題を設定した。

学年・学級の枠を外した学習集団での総合的な学習の時間

- ・ 全学年で総合の時間割をそろえる（水曜日の5・6校時）
- ・ 学年・学級の枠を外した学習集団を形成する
- ・ 7つの領域（ゼミ）を開設する（年間35時間）



①防災・防犯

②福祉・ボランティア

③歴史・地理

④食・特産物

⑤広報・観光

⑥まちづくり

⑦自然・環境

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
週	2	3	4	2	4	4	4	3	3	4	2	
	11週				15週				9週			
2・3年学年総合 (従来型)	4	4	4	2	2	2	2	4	3	4	4	計 35
1～3年一斉総合 (ゼミ方式)		2	3	2	6	6	6	6			4	計 35
1年学年総合 (従来型)	2	2	2				2	4	1	2		計 15
1年音美	2	2	2	2	2	2			2	2	4	計 20

学年・学級の枠を外した学習集団での総合的な学習の時間

- ・ 生徒たち一人一人の「なぜ？」や「～したい」を大切にすること
- ・ 地域や実社会の「人・もの・こと」とのかかわりを大切にすること
- ・ 協働を通して、互いをより深く理解していくこと
- ・ 友達や担当の教職員と振り返りを行う中で、学びの軌道修正をしたり何を学んだかを確かめたりしながら次に進んでいくこと



「探究」の視点

「まちづくり」をテーマとし、実社会や実生活と結び付けながら取り組んでいるゼミの実践から

情報収集を進めている中で、生徒たちから「まちづくりに詳しい人に話を聞きたい」という意見が出てきた。

その後、町の『都市計画課』の人をゲストティーチャーとして招いた。その人の話の中で「寄居町を楽しむことがまちづくりにつながる」というフレーズに生徒たちは心を揺さぶられた。「町のよさを知ること・広めることが自分たちにもできるまちづくりだ」と話合いを通じて生徒たちは結論付けた。

はじめは、「自分たちにできるまちづくりなんてあるのか」と不安な様子だったが、自分たちで解決の糸口を見つけ、方向性を見いだしたことにより、その後の活動も生徒主体のより探究的な活動に変化していき、社会参画への意識も高まった。

「探究」の視点

担当している教員は、生徒一人一人が持つ本来の力を引き出し伸ばすように支援することを意識していた。生徒の主体性が発揮されている場面では、生徒が自ら変容していく姿を見守り、学習活動が停滞したり迷ったりしている場面では、場に応じた指導をするようにしていた。それにより、容易に解決されないような複雑な問題を探究し、物事の本質を見極めようとする生徒の姿も見られるようになってきた。教員は、生徒に積極的に寄り添いながら、自身も幅広く情報を収集し、選択・判断していた。そして、生徒の学習を支えながら、生徒一人一人の主体性が発揮できるように、生徒の学習状況に応じた指導を心掛けていた。



「協働」の視点

7つのゼミで活動を行っている関係上、他のゼミの取組を知る機会が少なかった。そこで、今まで取り組んできたことなどを校内報告会として発表できる場を設定した。発表の方法も、掲示物を作成したり、プレゼンソフトを活用したりと、各ゼミで考えるようにした。他のゼミの取組を知ることで今後の活動の参考にし、より探究的な活動へとつなげていくことができた。



「協働」の視点

それぞれのゼミを担当している教員は、生徒が多様な情報を活用し、自分と異なる視点からも考え、力を合わせたり交流したりして学べるように、支持的に働きかけるとともに、協働的に学ぶことを通じて個人の学習の質を高め、同時に集団の学習の質も高めていくことができるように、学年の発達段階に応じた指導や援助に努めていた。



成果と課題

成果

○生徒が、自分は「何をしたいのか」、「何をすべきか」等、主体的に問題や課題を発見し、自己の目標を選択、設定して、その目標の達成のために取り組んでいた。また、異学年、異学級の仲間と取り組むことで、仲間のよさを知り、認め、尊重する。正解のない問いに対して、自分なりの考えを構築していた。探究する学びが社会につながることを実感していた。これらが自己実現を図るための自己指導能力の獲得につながったと捉える。

○下級生は、上級生の経験知、課題に対する考え方、社会的スキルなど、目の前で感じながら、吸収しようとしていた。上級生も下級生を前により質の高い探究を進めようと取り組んでいて、互いに高め合う姿が見られた。



成果と課題

課題

- 他の教科等においても、生徒指導の実践上の視点である、自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供及び安全・安心な風土の醸成などを踏まえた学習活動を充実できるように努めていきたい。
- 異学年で学ぶことを通じて学習の質を高めることができるように、発達段階に応じた指導や援助の在り方について引き続き研究していきたい。



おわりに

“生徒が学ぶ楽しさを実感”

R 4 全国学力・学習状況調査質問紙調査（現中3）

Q、自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか？

→肯定的な回答 県 76.9% 男衾中 93.9%



“地域を愛する”

R 4 埼玉県学力・学習状況調査質問紙調査（現中3）

Q、今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心を持っていますか？

→肯定的な回答 県 38.4% 男衾中 58.0%



おわりに

学年・学級を取り払い異学年で構成したゼミによる総合的な学習の時間の取組を通じ、生徒同士が、学年、学級の壁を越えて、関係が良好になっていくのを目の当たりにした。

また、教職員も、情報交換・実践交流が行われ、そのことが生徒一人一人のよさを見つけ、伸ばしていくことにつながると感じた。生徒指導という視点からも総合的な学習の時間の重要性をあらためて認識することができた。



自他を敬愛し他者と協働しながら自己実現を 図るための自己指導能力を育成する生徒指導の充実

～総合的な学習の時間における
学年・学級の枠を外した学習集団での取組を通して～

ご清聴ありがとうございました



令和5年1月31日

寄居町立男衾中学校 市川 篤史

具体的には

- 子供が、**問いをもち続け、考えを構築し続けていく**ために、探究する課題（**探究課題**）をゼミごとに設定した。
- 資質・能力を身に付けるために、ゼミごとに**目標と評価規準**を設定した。
- 総合的な学習の時間は、子供にとって**身近な社会や生活と結び付けた学習**であることから、男衾や寄居に関わる「**人・もの・こと**」を学習材（教科書に代わる）とした。
- 年間の活動計画の内容は、時間や方法にゆとりをもたせ、途中の軌道修正（変更）も可能とした。
- 子供一人一人にA4サイズの**リングノート**を配付し、自由につかってよいとした。
- リングノートには、区切りのある活動（1時間の時もあれば、2時間続きの時もある）が終わったところで、必ず子供が「**振り返り**」を書くこととした。
- 子供が書いた振り返りについて、**担当の教員は、コメントを入れる**こととした。
（一人一人の活動を把握する、よさを認める、場合によっては活動のヒントを与える、次の活動に活かす等）

探究課題とは？

子供が単元を通して「何を学ぶのか」を端的に表したものの

単元の中で繰り返しかかわることができる

「人」・「もの」・「こと」

単元の中で行われる「活動」が多様である

三つの課題	探究課題の例
横断的・総合的な課題 (現代的な諸課題)	地域に暮らす外国人とその人たちが大切にしている文化や価値観 (国際理解)
	情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化 (情報)
	身近な自然環境とそこに起きている環境問題 (環境)
	身の回りの高齢者とその暮らしを支援する仕組みや人々 (福祉)
	毎日の健康な生活とストレスのある社会 (健康)
	自分たちの消費生活と資源やエネルギーの問題 (資源エネルギー)
	安心・安全な町づくりへの地域の取組と支援する人々 (安全)
	食をめぐる問題とそれに関わる地域の農業や生産者 (食)
	科学技術の進歩と自分たちの暮らしの変化 (科学技術)
	など

学習対象
人・もの・こと

- ビオトープ
- 生物・植物
- 生態系
- NPO、専門家
- 行政
- ホームページ
- 地域の人

どんな活動？

- 体験する
- 見る
- 聞く

- 調べる
- 見学する
- 観察する
- 記録する

- 作る、改良する
- やってみる
- 飼育・栽培する
- 管理する

- 関わる、交流する
- 協力する
- 発信する 他

実際の探究課題

【各ゼミの探究課題】

安心・安全で住みやすい町にするための取組とそれに関わる人々

誰にとっても住みよい福祉・クリーンな町と未来の寄居

歴史と特産物・地域にかかわる人々

特産物と町の発展

生活の豊かさと自然、寄居の魅力発信

寄居町の再開発から学ぶ中学生のまちづくり

身近にある自然環境と豊かな生態系の創造

【全体を貫く課題】

男衾中の生徒が創りたい寄居のまち

実践例 ①防災・防犯ゼミ

①防災・防犯 ～寄居町を安心・安全で住みやすい町にするための取組とそれに関わる人々～

【単元目標】

寄居町における安心・安全なまちづくりに関する探究活動を通して、地域の特性に気付き、防災・防犯の意味について考えるとともに、今後の生活に生かそうとする。



災害が起きたらどうする？

水がないと困るよね



【警察署訪問】



【生徒作成の発表資料（一部）】

【実践のまとめ】

避難所や防災食、ハザードマップなど調査する活動を行った。警察署では、詐欺被害の話聞き、対策などを話し合った。防災・防犯に対する考え方の視野を広げることができた。今後は、家で作れる防災グッズなどを考えたいという意見も出てきた。

実践例 ②福祉・ボランティアゼミ

②福祉・ボランティア ～誰にとっても住みよい福祉・クリーンな町と未来の寄居～

【単元目標】

身近な福祉やボランティアに関する探究活動や関係する人との交流活動を通して、地域の現状を知り、より暮らしやすい寄居町について考えるとともに、未来の生活に生かそうとする。



幼稚園に行って聞いてみたい

私たちができる福祉って何があるだろう



【保育所訪問】

<p>テーマ 「必要な場所に、必要な手を…」</p> 	<p>チーム チーム保育園 Nursing お年寄りグループ Dと幼稚園のボロネーゼ 男衾キッズクラブ グリーンアース</p>  
<p>チーム保育園・Nursing</p> 	<p>今後の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男衾保育所にボランティアをし、メダルを渡しに行く。 ・男衾の里に色紙を届ける。 ・若竹幼稚園にボランティアをし、プレゼントを渡しに行く。 ・男衾小学校に行って、ボランティアをしに行く。 ・男衾自然公園で、落ち葉拾いをする。

【生徒作成の発表資料（一部）】

【実践のまとめ】

保育士や幼稚園教諭へのサポート、地域の公園への美化活動など、自分たちができること話し合い、その後、具体的な活動を行った。園児との触れ合いを楽しむだけでなく、自分の進路キャリアについて考えることができた生徒もいた。今後は、手話について学びたいという意見も出てきた。

実践例 ③歴史・地理ゼミ

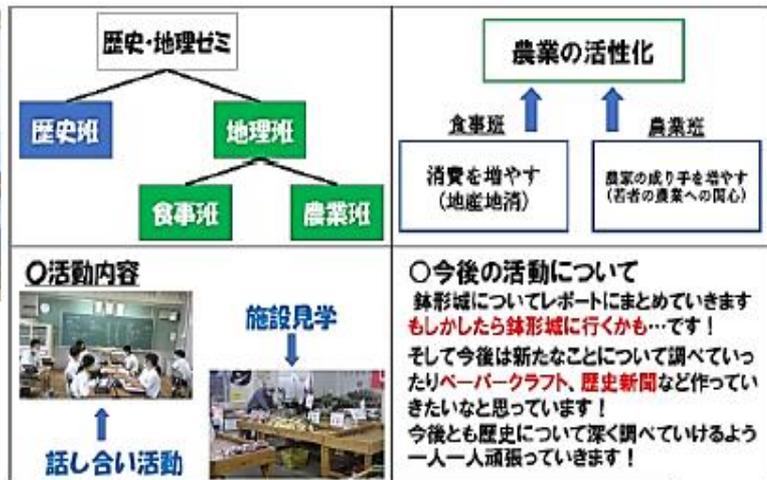
③歴史・地理 ～歴史と特産物・地域にかかわる人々～

【単元目標】

男衾や寄居町における歴史的・地理的特徴に関する調査活動・探究活動を通して、男衾の地域や生活の特徴に気付き、地域の活かし方を考えるとともに、地域に誇りを持ち、自らの生活や行動に生かそうとする。



【歴史館館長さんの特別授業】



【生徒作成の発表資料（一部）】



寄居って何があるの？

土地の広さを活かさないかな

【実践のまとめ】

最初は「寄居には何もない」と言っていた生徒たちも、鉢形城歴史館などの歴史の調査や、農家の協力を得て行った農業見学を通して、「自分たちが知らなかっただけ」と気付くことができた。今後は、自分たちが知ったことを周りの人に広めていく活動をしたいという意見も出てきた。

実践例 ④食・特産物ゼミ

④食・特産物 ～特産物と町の発展～

【単元目標】

男衾・寄居町の特産物についての調査・探究活動を通して、地域や特産物の特徴に気付き、地域と特産物との関連について考えるとともに、地域の活性化に貢献しようとする。

寄居は風布のミカンが有名だね



ミカンを使った料理は何かあるかな



【自分たちが考えたメニューで調理実習】



【生徒作成の発表資料（一部）】

【実践のまとめ】

寄居町の特産物を使ってメニューを考える活動を通して、味や見た目、コストパフォーマンスなど、メニュー開発の難しさを改めて考えることができた。今後は、町の名産である「とろとろナス」を使ったメニューや、なぜナスが名産となったのかなどを考えていきたいという意見も出てきた。

実践例 ⑤ 観光・広報ゼミ

⑤観光・広報 ～生活の豊かさと自然、寄居の魅力発信～

【単元目標】

男衾や寄居町における広報に関する調査活動・探究活動を通して、地域や生活の特徴に気づき、地域の活かし方を考えるとともに、自らの生活や行動に生かそうとする。

キャンプってどんな感じなのかな？



【火起こし体験】



寄居町の魅力を発信するために・・・
今年オープンしたキャンプ場について調査



キャンプの魅力に迫る！ 火起こし体験



キャンプの魅力に迫る！ テント設置体験



キャンプの魅力に迫る！ キャンプ飯体験

【生徒作成の発表資料（一部）】

【実践のまとめ】

町に新しくキャンプ施設ができたことから、キャンプの魅力について探究した。様々な体験活動を通して、「不便を楽しむ」ことがキャンプの魅力の一つであると気付いた生徒も多い。今後は、このことを伝えていく活動をしたいという意見も出てきた。

実践例 ⑥まちづくりゼミ

⑥まちづくり ～寄居町の再開発から学ぶまちづくりとそこに暮らす人々～

【単元目標】

男衾・寄居町のまちづくりに関する探究活動を通して、地域の特性に気づき、地域の発展について考えるとともに、地域の活性化に貢献しようとする。

寄居の駅前はどう？



ここに僕たちのポスターとか置いてもらえるかな



【商店街でインタビュー】



【生徒作成の発表資料（一部）】

【実践のまとめ】

最初はまちづくりとは何をすればいいのかわからなかった生徒も、役場の人や地域の人との交流をもつことで、「自分たちもまちづくりに参画できる」と気付くことができた。今後は、寄居町以外の人たちにも「寄居町のよさ」を知ってもらうための活動をしていきたいという意見も出てきた。

実践例 ⑦自然・環境ゼミ

⑦自然・環境 ～身近にある自然環境と豊かな生態系の創造～

【単元目標】

男衾や寄居町における自然環境の調査活動・探究活動を通して、生態系調査に必要な技能を身に付け、身近な生態系の特徴に気付き、豊かな生態系が存在する理由を考え、維持・改善する方策を模索し、積極的に行動しようとする。



【生態調査】



小学校にあったビオトープは使えないかな？



カエル

初めに私はカエル好きなのでレポートにカエルを1匹採集し、レポートを作ることにしました。そして、灰褐色のカエルをみつけ、レポートにまとめる事にしました。

初めは体の色からフナガエルかとおもったが、体長がフナガエルより結構小さく、よく調べたところ、ニホンアマガエルは基本緑色に染色することがあると知りました。

そこで、ニホンアマガエルと仮定してレポートを書いていくことにしました。



ニホンアマガエル

・体長 5.5cm

・体色 緑色

・生息地 池

・観察日時 2023年7月15日

・観察場所 男衾小学校

・観察者 〇〇〇

・観察時間 15分

・観察内容

・観察結果

・観察感想



カブトムシ

・体長 5.5cm

・体色 黒色

・生息地 池

・観察日時 2023年7月15日

・観察場所 男衾小学校

・観察者 〇〇〇

・観察時間 15分

・観察内容

・観察結果

・観察感想



カブトムシ

・体長 5.5cm

・体色 黒色

・生息地 池

・観察日時 2023年7月15日

・観察場所 男衾小学校

・観察者 〇〇〇

・観察時間 15分

・観察内容

・観察結果

・観察感想

【生徒作成の発表資料（一部）】

【実践のまとめ】

長年放置されていたビオトープを調査したところ、それでも様々な生物がいることを発見することができた。ビオトープの再生と並行しながら、どんな生物がいるのかレポートにまとめるなどの活動ができた。今後は、これらの生物の図鑑を作成し、他の生徒も見られるようにしたいという意見も出てきた。

単元のゴールとして

探究課題について子供一人一人が自分の考えを表現できるようにする

寄居町の再開発から学ぶ中学生のまちづくり

内化
INPUT



外化
OUTPUT

はじめは、中学生の自分にできるまちづくりなんてあるのかと思ったけど、都市計画課の方からの話と、そのあとゼミの仲間たちと取り組む中で、**自分たちが寄居町を思いっきり楽しむことがまちづくりである**が気付きました。楽しめたことが魅力であり、それを**多くの人に伝えていきたい**。

(2016 田村)